



海峽ドラママシッパ
関門海峽ミュージアム 多目的ホールにて

海峽演劇祭

2015年
12月5日(土)～26日(土)

門司港「揺らぎ」の芸術祭2015プログラム

©主催 海峽演劇祭実行委員会



誰かと暮らす「社会」。

やりとりで知る他者の感覚は

不思議がいっぱい。

でも、「私」が当然と思ってる日常も

仕方が無いと諦めている物事も

常に、途上。変わっていくし、変えられる。

「あなた」と「私」の日常を、ここから一緒に覗きたい。

見知り日常

■ 海峽を臨むミュージアムにて ■

海峽演劇祭は2010年から始まり、今年で6回目を迎えます。北九州市の観光名所「門司港レトロ地区」に2003年に開館した「関門海峽ミュージアム(海峽ドラマシッパ)」。その中にある多目的ホールは、旧YMCA門司港ランチのデザインを再現したものです。海峽演劇祭は、この海峽を臨むミュージアムから、生の表現を発信していくと始まった、ちいさなフェスティバルです。

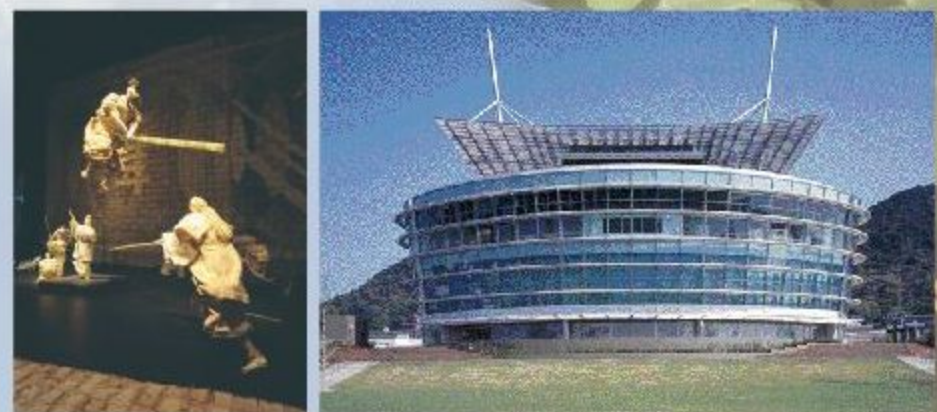
演劇……TVでもインターネットでもない、実際に、その時間その場所で「やりとり」が起こること。それは、客席に居る「あなた」と「だれか」の存在が含まれた、唯一の作品であるとも言えます。そこにある身体が発する熱が、そのまま伝わってくるのを感じる時、改めて自分の「身体」の存在にも、たどり着けるかもしれません。

谷瀬 未紀【海峽演劇祭 実行委員長】

■ 海峽演劇祭2015 上演スケジュール

12/5 16:00	異色の夫婦ユニット 〇うずまき座 『 空気 の観察』
12/6 16:00 [上演時間約60分]	
12/12 14:00	ひとり芝居 〇劇団石(トモ) 『 在日 バイタル チェック』
[上演時間約70分]	
12/19 16:30	ダンス公演 〇 horamiri ダンス研究所 『 黒 の物語』
12/20 13:00・16:00 [上演時間約50分]	
12/26 13:00・16:00	リーディング公演 〇 海峽プロジェクト 『 Hg —猫の庭』
[上演時間約60分]	

○ 関門海峽ミュージアム 【海峽ドラマシッパ】



関門海峽の過去・現在を五感で感じられるミュージアムです。海峽にまつわる歴史を人形アートで再現した「海峽歴史回廊」、海峽の大パノラマを眺めながら海峽の今を知る「リアルタイム関門海峽」など見どころ満載です。

- ◇住所 北九州市門司区西海岸1丁目3番3号
- ◇営業時間 9:00～17:00
- ◇料金 展示ゾーン 大人500円・小中学生200円

ぜひ演劇祭の公演前後に、全館をお楽しみください。

◇各公演の「展示ゾーンチケット付」のご予約は海峽演劇祭事務局まで



お問い合わせは 海峽演劇祭事務局

TEL.093-331-6700
(関門海峽ミュージアム)

E-mail customersupport@kanmon-mojiko.com
(各公演の予約もできます)

◎詳しい情報は、WEBでご確認ください。
<http://t-etc.net/2015main.htm>

関門海峽&門司港レトロ
<http://www.kanmon-mojiko.com/>

12/5 SAT 16:00

12/6 SUN 16:00

異色の夫婦ユニット◎うずまき座

『空気の観察』

【上演時間約60分】

私たちは、日常生活の身近な話題から大きな社会問題に至るまで、価値観の違う相手と対話することを、ためらうことがあります。

好きなヒト、嫌いなヒトが違っている。
愉しいコト、不愉快なコトが違っている。
好きな食べ物、嫌いな食べ物が違っている。
食の安全性への考え方が違っている。
子育ての考え方や方法が違っている。
学校教育に求めるものが違っている。
安全保障に対する考え方が違っている。

どうすれば、違いを越えて対話ができるのでしょうか。
異色の夫婦ユニット「うずまき座」のデビュー作。



○作・演出・出演/手塚夏子・大澤寅雄
○料金【予約】2,000円【当日】2,500円(夫婦割引・2人で)3,000円

問・予約 natsukote@gmail.com

【展示ゾーンチケット付】2,100円(事務局までご予約を)

Profile

うずまき座

ダンサー/振付家の手塚夏子と、文化生態観察の大澤寅雄による夫婦ユニット。福岡県糸島市在住。今回の海峡演劇祭2015への参加をきっかけに結成。日頃は別々のフィールドで活動している二人が共同で、表現活動を実践する。

●手塚夏子(ダンサー/振付家)

自身の体を素材とし実験する作品『私的解剖実験』シリーズを制作。身体を観察から、関わりそのものの観察まで視座を広げ、小さな単位の物事を多角的に照らし出す。現代に生きる人々および自分にとっての前提を揺さぶり、世界を認識する多様な感覚へ可能性を開き続ける。また自分の足下を掘り下げ豊かな創作の根を広げると同時にダンスシーンの潜在的

な可能性を深めるべく試行錯誤を、他のアーティストと共に積極的に行う。

●大澤寅雄(文化生態観察)

(株)ニッセイ基礎研究所芸術文化プロジェクト室准主任研究員、NPO法人アート NPOリンク事務局、NPO法人 STスポット横浜監事。大学卒業後、劇場コンサルタントとして公共ホール・劇場の管理運営計画や開館準備業務に携わる。2010年からパートナーであるダンサー・振付家の手塚夏子とともに、日本やアジア各地の民俗芸能をリサーチする「Asia Interactive Research」を展開。2013年、神奈川県相模原市から福岡県糸島市に移住し、地域文化を生態系として観察する「文化生態観察」を実践中。

12/19 SAT 16:30

12/20 SUN 13:00・16:00

ダンス公演◎horamiri ダンス研究所

『黒の物語』

【上演時間約50分】

どんな日常もあり得る。
どんな日常も。
今は想像できないようなどんな日常も起こり得る。
そういう中で私たちは日々暮らしている。
楽しい事を考えながら。どうしたらよくなるだろうと工夫しながら。
一緒にやろうよと助け合いながら。
何かに驚きながら。
全ての人に共通の生きるために必要な「もの」って何だろう？
空気と水。そして？
生きるために必要な「こと」って何だろう？
食べて気持ちよく寝る。しあわせを感じる。
自分のしあわせと同時に子どもたちのしあわせを祈る。
自分が死んだ後の世界の平和も祈る。
晩ご飯の準備を考えながら、平和の為に何ができらるかも考える。

最初に何があった？
まず黒から物語を始めてみようと思う。



○振付・演出/つかのみき
○出演/田島初美・菊元美・門司智美・つかのみき・他
○料金【予約】1,800円【当日】2,000円

問・予約 horamiri.dance@gmail.com

【展示ゾーンチケット付】1,900円(事務局までご予約を)

Profile

horamiri ダンス研究所

2004年結成。北九州市を拠点にダンスに関する諸研究や振付、作品制作を行う。音楽や身体表現のゆるやかなユニットとして稽古場をオープンにし、地元アーティストや俳優達が任意に参加する「場」ともなっている。代表(局長)で振付のつかのみきは80年代より女優として劇団に所属、また演劇作品の振付を担当。ダンサーの多くが演劇仲間たちでもあり、カラダが物語るダンスが特徴。楽しく生きる=平和を目指して今日も踊ります。
http://t-etc.net/horamiri.htm

12/12 SAT 14:00

ひとり芝居◎劇団石(トル)

『在日バイタルチェック』

【上演時間約100分】



○作・演出/きむきがん ○音響効果・スタッフ/こんきじゃ
○料金/【予約】2,000円【当日】2,500円【学生】1,500円 ※入場は中学生以上

問・予約 予約フォーム

http://goo.gl/forms/P0PhlUprRu

☎090-3993-2342



【展示ゾーンチケット付】2,100円 学生 1,600円(事務局までご予約を)

Profile

劇団石(編/トル)

2004年設立。主宰:きむきがん。滋賀県彦根市に拠点を置き一人芝居・演劇ワークショップなど、関西一円で活躍中。パワフルな笑いの中に、常に社会的弱者に目を向けた作品を上演している。

代表作に、違いを認め合って生きることをテーマにした「かもめに飛ぶことを教えた猫」、野宿労働者をテーマにした「民衆劇釜ヶ輪〜おっちゃん達の人間宣言〜」、部落差別の歴史と現状を描いた「人の値打ち〜たまちゃんとはるちゃん〜」などがある。劇団が基調とする朝鮮半島に伝わるマダン劇は、民衆が生きていくために欠かせない芸能の一つで、

村の中心に備えられたマダン(広場)に芝居を作り、見る者も演じる者もすべての村人がその生活の喜びも苦しみも分かち合ってきたものです。私達はその理念を大切に「民衆による民衆のための生きる糧になる芸術」を目指し活動を続けています。「在日バイタルチェック」は2013年10月の初演から旅を重ね、たくさんの出会いがあり、どんどん深まりはじめています。舞台上上がる私の体を通して、先人達の生き様がどうか歴史に埋もれてしまわないように、みんなの心に残ってほしい、そして次に繋げたい。そんな作品です。ご覧になられる皆様はその何かを感じ、一緒に手をつないでくださればなによりです。

舞台は在日コリアン1世が通う

デイサービスセンター「민들레(たんばば)」。

1世のハルモニと2・3世のスタッフ達の愉快な毎日に、壮絶な歴史をたくましく生き抜いてきた1世達の思いと「今」に悩む2・3世の思いが笑いと涙の中で交差する。

「在日朝鮮人」とよばれる人達がなぜ日本にいて、そこにはどんな暮らしがあるのか。

バイタル(医)＝「生きている証」正気に満ちたさま。
活力に満ちたさま。

脈拍・心拍数・呼吸・血圧・体温・鼓動！を意味する。

12/26 SAT 13:00・16:00

リーディング公演◎海峡プロジェクト

『Hg—猫の庭』

【上演時間約60分】

2008年に東京で活動する劇団「風琴工房」によって初演された作品『Hg』の第1話「猫の庭」を九州の役者たちによってリーディングでお届けします。水俣病の被害企業であるチソ内部で実際に行われていた原因究明の猫実験。それを踏まえた研究会の緊迫した1時間を描いたものです。社員たちや付属病院の医師たちは原因がチソにある、と解っていないながらその事実を隠蔽しました。結果、さらに被害は拡大し、今なお大きな爪痕となって彼の地を苦しめています。しかしその影には握りつぶされた良心があり、擦り切れていく個人の姿がありました。未曾有の原子力発電所事故の後を生きる日本で、見つめ直したい光景がここにあると思います。



○作・演出/詩森ろば(風琴工房)
○【出演】山口恭子(演劇作業室 紅生姜) 野口和夫(演劇作業室 紅生姜) 江口之章/児島誠(劇団 C4) 渡辺 ハンキン 浩二/吉田幸弘/テンイチ/中川裕可里(飛ぶ劇場) 特別出演: 桑島寿彦(飛ぶ劇場)
○料金/【予約】1,800円【当日】2,000円
問・予約 kita9tamayura@gmail.com
☎080-1711-5074

【展示ゾーンチケット付】1,900円(事務局までご予約を)

Profile

海峡プロジェクト

2011年の海峡演劇祭で発足した、北九州と別地域との協働企画チーム。今回は演出に詩森ろば氏(2003年:児童虐待を加虐の側から描いた「紅き深爪」で日本劇作家協会新人戯曲賞優秀賞、2011年:日航機墜落事故の慰霊登山をめぐる葛藤を描いた「葬送の教室」が鶴屋南北戯曲賞最終候補に。2013年:朝鮮での日本語教育をテーマにした小里清の作品「国語の時間」の演出。2014年読売演劇大賞優秀作品賞をお迎えしての初顔合わせになります。